

令和元年度「埼玉学園大学公開講座」のご案内

テ ー マ : 「日銀のマイナス金利下で経済はどうなっているのか」

		各回テーマ及び講義内容	講師名、専門分野
第1回	9/14 (土)	日銀のマイナス金利とは何か？ 超円高・デフレ不況克服のため、日銀は2016年2月に、日銀に預けた銀行の当座預金の一部に利子を課すマイナス金利政策を導入しました。そのため、銀行経営の悪化等、経済・金融が深刻な影響を受けており、その実態について考えます。	相沢 幸悦 埼玉学園大学経済経営学部教授 経済学博士 金融論、日本経済論 特に、マイナス金利政策が経済と金融に与える影響について研究
	14:00 ～ 15:30		
第2回	9/28 (土)	マイナス金利下での地方銀行経営 現在の金融情勢において、銀行経営は多くの課題に直面しているといわれています。この問題を私たちに身近な地方銀行に焦点をあてて考えてみたいと思います。地方銀行の模索を通して企業経営の環境対応の秘訣が得られるかもしれません。	大江 清一 埼玉学園大学経済経営学部准教授 博士(経済学) 経営倫理、金融史 特に、渋沢栄一思想と業績および銀行検査史の研究
	14:00 ～ 15:30		
第3回	10/19 (土)	仮想通貨の可能性 ビットコインをはじめとする仮想通貨は、さまざまな取引上のスキヤンダルにまみれながらも、投資の対象としての魅力を持ち続けています。「通貨」とはいえ仮想通貨が通常の購買に使われることは少ないです。Suicaなどの電子マネーと仮想通貨はどこが違うのか、貨幣としての今後の可能性はあるのか、考えてみましょう。	奥山 忠信 埼玉学園大学経済経営学部教授 経済学博士 貨幣数量説の形成と批判の学史研究、貨幣数量説の諸問題に関する理論研究、生産費説と労働価値論の意義に関する研究
	14:00 ～ 15:30		
第4回	11/30 (土)	マイナス金利下の会社財務 日銀のマイナス金利政策が会社財務にどのような変化をもたらしているかを考えてみましょう。その主な変化の1つは、2019年4月の国内公募社債が約1.5兆円と大量発行がみられること、その2つは、ダブルB格の投機的等級格付の公募社債を「アイフル」が日本市場で初めて発行すること、その3つは、2019年2月17日現在の自社株買いが6.7兆円を超える見込みであること(「アイ・エヌ情報センター(東京)」より)などです。	箕輪 徳二 埼玉学園大学経済経営学部教授 経営学博士 戦後日本の株式会社の自己金融を中心に、会社財務の諸問題を理論・歴史・制度・政策の側面から分析的に解明
	14:00 ～ 15:30		

場 所：埼玉学園大学

受 講 料：無 料

定 員：100名

定員超過の場合は抽選により決定します。(9月11日(水)までに通知します)

申込締切日：令和元年9月6日(金)

申 込 方 法：①Eメール、②ファックス(以下の申込欄をご利用ください)

記 載 事 項：①氏名、②年齢、③性別、④住所、⑤職業、⑥電話番号、⑦Eメールアドレス

なお、お送りいただいた個人情報は、公開講座以外に使用いたしません。

申し込み先：埼玉学園大学 エクステンションセンター 公開講座受付係

〒333-0831 埼玉県川口市木曽呂1510番地

T E L : 048-294-2111 / F A X : 048-294-0294

E-mail: extension@saigaku.ac.jp

【申込欄】

ふりがな 氏 名			年 齢			性 別	男・女
住 所	〒			職 業			
電話番号			Eメールアドレス				